

シルバープリンセス命名進水式祝賀会 社長挨拶

川崎近海汽船の石井でございます。

シルバープリンセスの命名進水式祝賀会に当たり、川崎近海汽船を代表致しましてご挨拶を申し上げます。本日は、弊社役職員多数お招きを頂きまして誠に有難うございます。

先ほど進水を致しました本船「シルバープリンセス」は、今春4月20日に起工式を執り行い、建造工事も順調に進捗をし、本日、無事、命名進水式を迎えることができました。これは、ひとえに原壽（ハラヒサシ）代表取締役常務執行役員 船舶・海洋事業本部長を始め三菱重工業株式会社下関造船所の職員の皆様並びに当初より本計画に携わって頂きましたご本社の皆様方を始め、ご関係の皆様方のご苦勞とご尽力の賜物と心より厚く御礼申し上げます。本船は「フェリーはちのへ」の代替船となりますが、三菱重工業殿では、98年の「シルバークイーン」、99年の「ほっかいどう丸」に続く建造となります。

弊社の基幹航路である八戸～苫小牧航路は1973年4月に航路を開設。以来、38年にわたり、北海道と東北を結ぶ物流・旅客輸送の大動脈として存在して参りました。あの3月11日の東日本大震災により、八戸が被災し青森での臨時運航を余儀なくされました。その後、7月11日に八戸への復帰を果たしましたが、その間、震災前と同様にご支援を頂きました多くのお客様と青森県、八戸市をはじめ地元関係各社の皆様には、本席を借りまして、改めて心より感謝申し上げたいと思います。

八戸～苫小牧航路の年間輸送量はトラック14万台、乗用車5万台、乗客32万人に達する本州と北海道を結ぶ重要な生活インフラであります。そして、その利便性の高さから各方面から輸送力の拡充を切望されておりました。本日、進水の「シルバープリンセス」は、それに応えるべく車両積載能力を増強し、客室も客船建造では日本一の重工さんのお力によって「くつろぎ」と「プライバシー重視」のコンセプトを巧みに実現して頂きました。就航の暁には乗客の皆様には新鮮な驚きと、十分な快適さを堪能して頂けるものと大いに期待をしております。

本船は来年4月5日の竣工の後、八戸、苫小牧の両港において一般公開・トライアルを経て4月9日には営業航海を開始するべく、準備を進めております。従いまして、無事本船が竣工を迎えることが出来ますよう、三菱重工業殿に改めてお願いを申し上げます。

現在内外ともに非常に厳しい経済環境ではありますが、川崎近海汽船は私以下、全役員が一層の安全運航、安定輸送に努めて参る所存であります。今後ともご支援・ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

最後になりますが、本日、ご列席の皆様方のご健勝と関係各社のご隆盛、そして「シルバープリンセス」の末永い安全航海を祈念してご挨拶とさせていただきます。本日は有難うございました。

以上